

平成24年度 アクションプログラム進捗状況評価一覧表(別冊)

	施設名	平成24年度計画		実績	総合 評価(案)
		経営健全化計画	策定		
1	室賀温泉 ささらの湯	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	
		利用者数人	300,000人	320,445人	
		収入額	95,000,000円	100,111,840円	
2	鹿教湯温泉 鹿月荘	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	✕
		利用者数人	13,000人	11,903人	
		収入額	101,500,000円	86,359,244円	
3	鹿教湯温泉 クアハウスかけゆ	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	✕
		利用者数人	22,000人	18,179人	
		収入額	8,200,000円	6,810,550円	
4	岳の湯温泉 雲渓荘	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	✕
		利用者数人	8,600人	7,029人	
		収入額	60,940,000円	46,848,983円	
5	武石温泉 うつくしの湯	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	
		利用者数人	128,520人	138,082人	
		収入額	85,072,000円	77,993,456円	
6	武石番所ヶ原スキー場	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	
		利用者数人	91,000人	89,462人	
		収入額	17,500,000円	21,302,580円	
7	室内プール アクアプラザ上田	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	✕
		利用者数人	153,000人	148,804人	
		収入額	46,000,000円	43,998,590円	
8	真田温泉健康ランド ふれあい さなだ館	経営健全化計画	策定	H25年3月策定	✕
		利用者数人	190,000人	170,177人	
		収入額	110,540,000円	97,485,094円	

評価において、「利用者数」又は「収入額」の何れかが計画値を上回った場合は、「」の評価としています。

施設名称	上田市農林漁業体験実習館（室賀温泉ささらの湯）（室賀温泉スタンドを含む）				
所在地	上田市上室賀1232番地1	開設年月日	平成9年6月20日	担当課所	農林部 農政課
設置目的	都市と農村との交流の場を整備し、農業の振興、地域の活性化及び住民生活の向上を図る。				
施設の概要	【風呂】内風呂（男女各1）、露天風呂（男女各1）、水風呂（男女各1）、サウナ室（男女各1） 【部屋】大広間（81.7畳）、第1研修室（和室25畳）、第2研修室（和室10畳）、第3研修室（和室8畳） 【その他】・食事処：そば処ささら亭（併設） ・農産物直売所（併設）				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1～H26.3.31（3年）	財団法人 上田市地域振興事業団		選定	
2					

基本方針	
都市と農村との交流の場を整備し、農業の振興、地域の活性化及び住民生活の向上を図るという施設の設置目的を勘案し、必要な施設の改修やサービスの向上等を通じて、利用者の皆様から末永く愛され、快適に利用していただける施設づくりに努めるとともに、利用料金による財政的にも自立した施設経営を目指すため、次の基本方針に沿った施設経営を行う。	
1	安全確実な施設運営を基に、より費用対効果の上がる施設経営を行い収益の拡大を図る。
2	マスメディア等による宣伝広告や営業活動によるPR活動を推進し、市外・県外からの利用促進も図る。
3	利用者数の増加により慢性的な混雑が発生しているが、様々な取り組みを模索し快適な利用環境を整える。
4	施設・設備面及び利用サービス・運営面の両面から危機管理体制の整備を図る。
5	

施設経営の課題	
1	施設の収容能力以上の入場者数による、慢性的な混雑の打開策の検討実施
2	設備の老朽化による様々な不具合の修理改修及び定期的な保守点検の必要性
3	入館者全体に占める年間券利用者の比率の増加による利用料収入の伸び悩み
4	平日及び閑散期における研修室や食堂、農産物直売所の利用促進と、滞在時間を延ばす創意工夫策
5	
（長期的課題と対応方針）	
1	休日における慢性的な混雑の発生が負のイメージとなり客離れを招くおそれがあるため、設備の改修・改善を行うだけでなく、研修講習会等へ積極的に参加し、一層のきめ細やかな接客接客サービスを提供する。
2	温泉施設に多くの利用者がある一方、地域食材供給施設（食堂・農産物直売所）の利用率が伸び悩んでおり、各事業間における連携を強化し販売促進策を図る。
3	

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	ディスプレイや緑化物による館内、館外美化を施設職員自身の手で実施【随時・指定管理者】
2	長寿命・省電力のLED照明を順次導入し、今後の維持管理費を削減【H22年度～・指定管理者】
3	ふるさと寄付金を活用し、露天風呂と洗い場を増設【H22年6月完成・市】
4	イベント「菊祭」（菊花展）の開催【H22年度～・市】
5	駐車場を増設し、混雑を緩和【H21年度（9台分）及びH23年度（10台分）・市】
6	農産物直売所の入口周辺を舗装して泥の侵入を防止し、衛生環境を改善【H23年度・市】

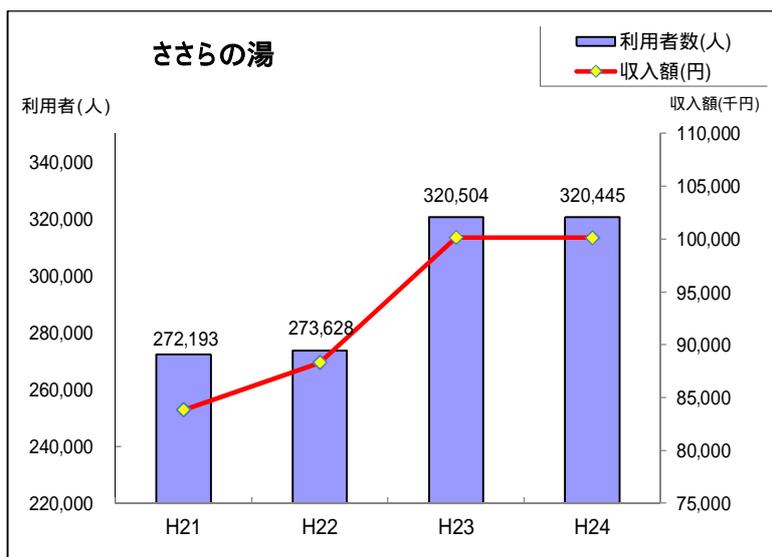
利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	280,000人	290,000人	290,000人	300,000人	321,000人	321,000人	321,000人
	B 実績	272,193人	273,628人	320,504人	320,445人			
	朝風呂	56,849人	49,190人	57,927人	57,798人			
	昼夜風呂	211,665人	220,834人	259,177人	259,764人			
	研修室	3,679人	3,604人	3,400人	2,883人			
	差引(B-A)	7,807人	16,372人	30,504人	20,445人			
	対前年増減		1,435人	46,876人	59人			
温泉スタンドの状況 (100/10円)		4,852,0300	4,612,5500	4,765,2500	4,757,9600			

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	84,000,000円	87,000,000円	87,000,000円	95,000,000円	100,720,000円	100,720,000円	100,720,000円
	B 実績	83,836,910円	88,298,680円	100,130,010円	100,111,840円			
	差引(B-A)	163,090円	1,298,680円	13,130,010円	5,111,840円			
	対前年増減		4,461,770円	11,831,330円	18,170円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・ H21年度に実施した風呂の拡張工事の効果により、H22年度以降の利用者数が増加したことから、利用者数の目標を見直す。 ・ 休日の利用者数は、風呂場面積の状況から現在以上の増加は難しい状況であることから、平日昼間の利用者の増加を目指す取組が必要となっている。 ・ 改修直後の増加に対する利用者数の反動を考慮した目標値を設定する。
収入全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定客が年間券利用へ移行する傾向がみられることから、利用者1人当たりの収入単価が低くなることを考慮する必要がある。 ・ H21～24年度実績：1人当たり利用料収入額 313.8円



施設名称	上田市鹿教湯温泉国民宿舎 鹿月荘				
所在地	上田市鹿教湯温泉1295番地2	開設年月日	昭和33年8月1日	担当課所	丸子地域自治センター 産業観光課
設置目的	地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定により、市民の保養及び健康の増進を図り、併せて観光客の利用に供する。				
施設の概要	【収容人数】 110人 【客室】 8畳×8室、6畳×26室、大広間40畳×1室、宴会場8畳×3室、食堂1室 【浴場】 大浴場2室、家族風呂1室 【駐車場】 30台				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1～H27.3.31 (3年)	財団法人 上田市地域振興事業団		選定	
2					

基本方針	
<p>自然環境の優れた国民保養温泉地である鹿教湯温泉に、国民の誰もが健全なレクリエーションと健康の増進を図るため、気軽に利用できる施設であることを目的に設置された経過と実績があるが、時代の変化や収支のバランスも踏まえ、鹿教湯温泉全体の活性化策の中で検討し、方向性を明確にしていく。</p>	
1	運営形態等の検討
2	魅力ある施設へのおもてなし度向上
3	施設の老朽化への対応と温泉宿泊施設のあり方の検討
4	
5	

施設経営の課題	
1	施設の老朽化対策及びサービスの向上
2	常連客の高齢化と利用客の減少
3	他の施設との連携による新商品開発
4	民間施設との競合
5	
(長期的課題と対応方針)	
1	鹿教湯温泉全体の再生と活性化策の中で、地域全体で検討し、必要性や運営形態など方向性を出す。
2	借地問題
3	クアハウスかけゆと一体化した建物への改築（渡り廊下増設など）

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	8畳和室にトイレを新設。共同トイレにセンサー付配線器具の取り付け。
2	清掃業務の外部委託をやめ職員対応による経費節減（約300万円）
3	原材料費（食材等購入費）の見直し。
4	常連客へのDM発送。
5	職員の意識改革への取組。
6	鹿教湯温泉再生活活性化に向けた地元中心の組織立上げ。

利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	14,250人	14,300人	14,400人	13,000人	13,000人	13,500人	14,000人
	B 実績	14,710人	13,214人	13,143人	11,903人			
	宿泊	12,637人	11,101人	11,225人	10,170人			
	日帰り	2,073人	2,113人	1,918人	1,733人			
	差引(B-A)	460人	1,086人	1,257人	1,097人			
	対前年増減		1,496人	71人	1,240人			

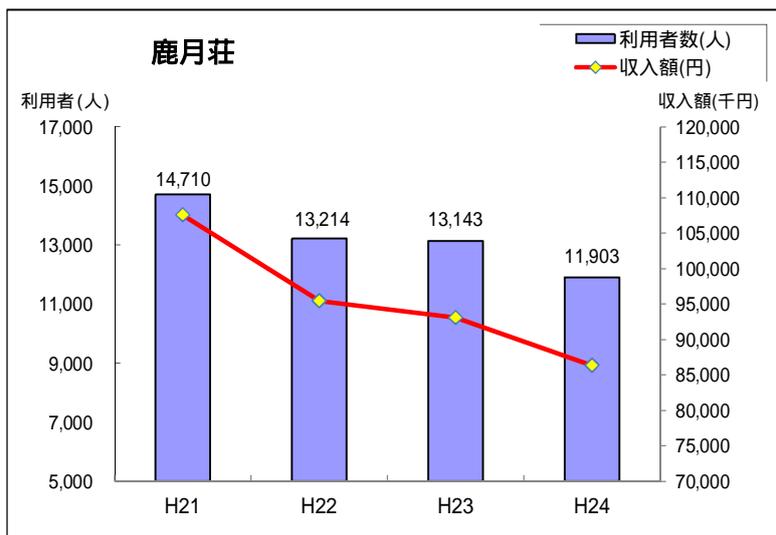
(市民の宿泊状況)

区分	平均		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
市民	2,563人	22.7%	2,966人 23.5%	2,636人 23.7%	2,495人 22.2%	2,154人 21.2%
市外	8,721人	77.3%	9,671人 76.5%	8,465人 76.3%	8,730人 77.8%	8,016人 78.8%
合計	11,283人	100.0%	12,637人 100.0%	11,101人 100.0%	11,225人 100.0%	10,170人 100.0%

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	129,183,000円	129,000,000円	130,000,000円	101,500,000円	93,900,000円	97,500,000円	101,100,000円
	B 実績	107,582,340円	95,451,946円	93,094,603円	86,359,244円			
	差引(B-A)	21,600,660円	33,548,054円	36,905,397円	15,140,756円			
	対前年増減		12,130,394円	2,357,343円	6,735,359円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	平成21年度並みの利用者の回復を目指す。
収入全体	平成21～24年度実績：1人当たり利用料収入額 7,220.8円



施設名称	上田市鹿教湯温泉健康センター(クアハウスかけゆ)				
所在地	上田市鹿教湯温泉1293番地	開設年月日	昭和58年4月1日	担当課所	丸子地域自治センター 産業観光課
設置目的	地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定により、温泉の利用による市民の健康増進と一般保養客の利用に供する。				
施設の概要	<p>【温泉利用指導者の指導】厚生労働大臣に認定された指導者で、温泉医・温泉療法医の「温泉療法指示書」に基づき温泉利用プログラムを作成し、クアハウスかけゆの入浴方法など、きめ細かくアドバイスします。</p> <p>【健康運動指導士/健康運動実践指導者/トレーナーの指導】個人の体力や運動能力、健康状態に適した運動プログラムを提供します。</p> <p>【8種類の浴槽】かぶり湯、打たせ湯、全身浴/部分浴、圧注浴、歩行浴、泡沫浴、寝湯、箱むし</p> <p>【温泉プール等】25m×1(5コース)、トレーニングルーム、休憩室、足湯</p>				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1~H27.3.31 (3年)	財団法人 上田市地域振興事業団		選定	
2					

基本方針	
<p>国民保養温泉地の指定を受けている丸子温泉郷(鹿教湯・大塩・霊泉寺温泉)にあって、温泉を利用して市民及び一般保養客の健康増進施設として、専属トレーナーを配置し、独自の事業を積極的に行っている。病院に近く、退院後や通院時に利用する方に加え一般観光客も利用している。施設の老朽化への対応を行うとともに、鹿教湯温泉全体の活性化策と併せて施設の今後のあり方を明確にする。</p>	
1	施設老朽化への対応
2	隣接する国民宿舎鹿月荘との一体的な利用方法の検討実施
3	特徴ある施設としてのPRと魅力アップへの取組み
4	運営形態等の検討
5	

施設経営の課題	
1	施設老朽化への対応
2	隣接する国民宿舎鹿月荘との一体的な利用方法の検討実施
3	特徴ある施設としての独自事業を積極的にPRし利用者増加につなげる取組み
4	他の施設との連携した取組み
5	経費節減を図りながらの引き続きの経営努力
(長期的課題と対応方針)	
1	鹿教湯温泉全体の再生と活性化策の中で、特徴ある施設としての運営形態や鹿月荘との一体的利用の促進
2	施設老朽化の改修と国民宿舎鹿月荘と渡り廊下などで利用客の往来を可能にするための改築の必要性
3	施設利用者や宿泊客の増加を図るための、病院や宿泊施設との連携

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	H21年度に、丸子温泉開発(株)の運営から丸子振興公社へ管理運営を移管
2	人件費節減の取組み
3	職員の意識改革の徹底による経費節減の取組み
4	工夫した独自事業の充実による利用者増加対策
5	温泉を利用した特徴ある施設であることの積極的なPR活動
6	

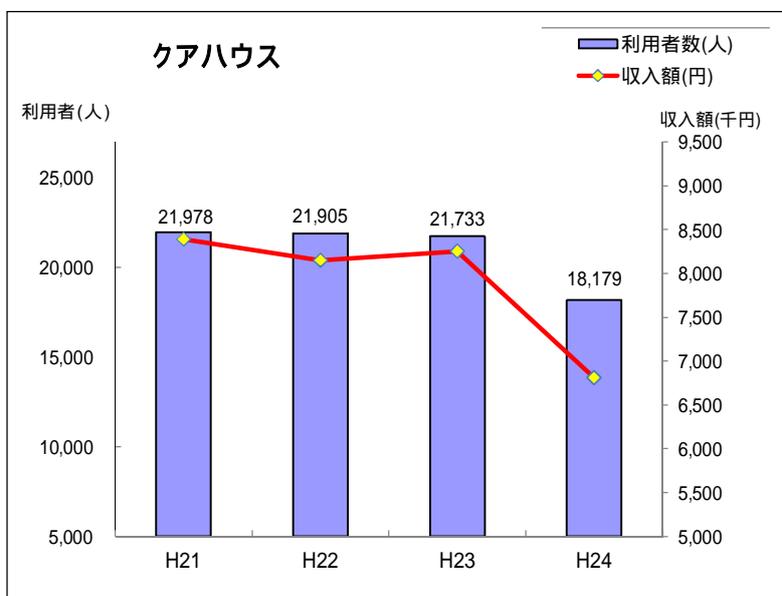
利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	21,000人	21,500人	22,000人	22,000人	19,000人	20,000人	21,000人
	B 実績	21,978人	21,905人	21,733人	18,179人			
	差引(B-A)	978人	405人	267人	3,821人			
	対前年増減		73人	172人	3,554人			

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	8,331,000円	8,500,000円	8,600,000円	8,200,000円	7,200,000円	7,500,000円	7,900,000円
	B 実績	8,390,550円	8,148,050円	8,253,700円	6,810,550円			
	差引(B-A)	59,550円	351,950円	346,300円	1,389,450円			
	対前年増減		242,500円	105,650円	1,443,150円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	2万1千人台の利用者の回復を目指す。
収入全体	平成21～24年度実績：1人当たり利用料収入額 377.1円



施設名称	岳の湯温泉 雲溪荘		
所在地	上田市武石小沢根578番地	開設年月日	昭和52年5月1日
		担当課所	武石地域自治センター 産業観光課
設置目的	豊かな自然環境の中で、地域住民に保健休養の場を提供する。		
施設の概要	(収容人数)84人 (客室)18室、大小宴会場3室		
	指定期間	指定管理者	備考
1	H23.4.1～H27.3.31 (3年)	財団法人 上田市地域振興事業団	選定
2			

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光旅館業は、消費者のニーズの多様化や低価格志向の影響を受け、宿泊者数が伸び悩んでいる状況である。 ・経営改善のため、「売上増加」「コスト削減」「経営目標数値の設定と管理」等具体的な計画を立て実施するとともに、温泉宿泊施設のあり方についても検討を進め明確にする。 	
1	豊かな自然環境と良質な温泉を前面に誘客を図り、保養の場を提供していく。
2	施設の老朽化対策
3	経営目標及び経営計画の着実な実行
4	
5	

施設経営の課題	
1	利用客数の減少(収入減)と市の指定管理料の増加
2	宿泊温泉施設のあり方
3	
(長期的課題と対応方針)	
1	施設の存続及び経営に対する結論を早急に出していく必要がある。
2	

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	イベント場所での割引券の配布
2	朝食を今までの固定メニューからバイキング形式にし、利用者に喜ばれる方法に改善した。
3	武石地域全戸に、季節特別メニュー広告のチラシをダイレクトメールで送った。
4	上田地域の新聞にチラシの折り込みを実施。
5	

利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	8,350人	9,700人	10,200人	8,600人	7,300人	7,600人	7,900人
	B 実績	9,066人	8,677人	8,311人	7,029人			
	宿泊	6,055人	5,259人	5,045人	4,189人			
	日帰り	3,011人	3,418人	3,266人	2,840人			
	差引(B-A)	716人	1,023人	1,889人	1,571人			
	対前年増減		389人	366人	1,282人			

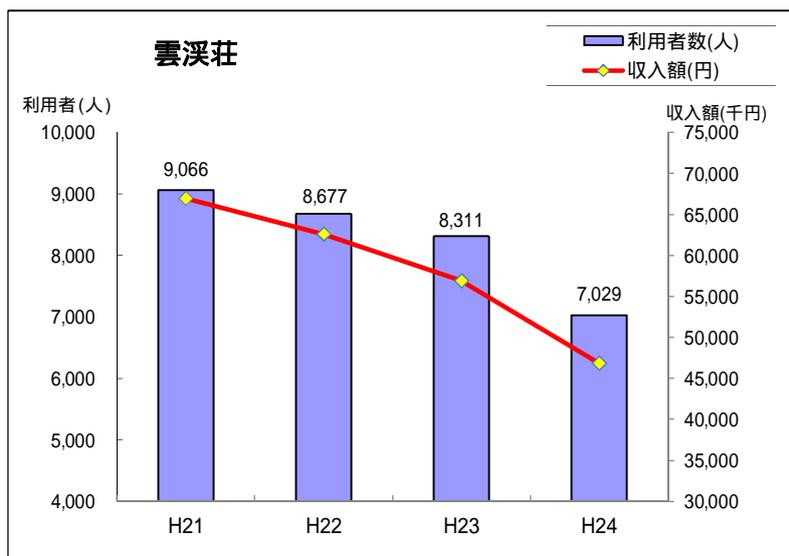
(市民の宿泊状況)

区分	平均		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
市民	1,960人	38.1%	2,346人 38.7%	1,918人 36.5%	1,864人 36.9%	1,710人 40.8%
市外	3,178人	61.9%	3,709人 61.3%	3,341人 63.5%	3,181人 63.1%	2,479人 59.2%
合計	5,137人	100.0%	6,055人 100.0%	5,259人 100.0%	5,045人 100.0%	4,189人 100.0%

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	76,500,000円	79,000,000円	82,500,000円	60,940,000円	51,500,000円	53,600,000円	55,700,000円
	B 実績	66,946,260円	62,585,970円	56,897,372円	46,848,983円			
	差引(B-A)	9,553,740円	16,414,030円	25,602,628円	14,091,017円			
	対前年増減		4,360,290円	5,688,598円	10,048,389円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	平成28年度には、平成21年度利用者数と同程度への回復を目指す。
収入全体	平成21～24年度実績：1人当たり利用料収入額 7,051.3円



施設名称	武石温泉 うつくしの湯				
所在地	上田市上武石1454番地3	開設年月日	平成11年5月11日	担当課所	武石地域自治センター 産業観光課
設置目的	自然の恵みである温泉を活用して、保健休養の場を提供し、地域住民の健康・福祉の増進を図る。				
施設の概要	<p>【風呂】付き添いの方やご家族と一緒に入浴できる福祉風呂「のぞみ」、ジェットバス、打たせ湯、ミストサウナ、大浴場(男女各1)、露天風呂</p> <p>【部屋】大広間1室(84畳)、小広間1室(15畳)、カラオケルーム1室</p> <p>【施設全体】バリアフリー</p>				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1～H27.3.31 (3年)	財団法人 上田市地域振興事業団		選定	
2					

基本方針	
公共温泉施設の目的である、福祉、健康、地域の活性化につながる計画を実行する。近隣の温泉施設との競合に負けない柔軟でスピーディな経営を進める。	
1	魅力ある温泉施設の維持、向上を図る。
2	利用客増をめざし、経営改善を図る。
3	

施設経営の課題	
1	厨房、空調等の老朽化対策
2	入館者増に向けた取り組みの実施
3	職員の経営ノウハウの蓄積と向上
4	他の日帰り温泉施設との競争の激化
5	
(長期的課題と対応方針)	
1	魅力ある日帰り温泉施設として、利用客に満足していただける施設として定着できる魅力を備えていく。
2	施設の老朽化の進行による、利便性及び安全性の確保を実現していくこと。
3	

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	光熱水費の節約方法として、化石燃料改質剤による灯油使用料の削減を図った。
2	開館時間が午後9時までを延長し、午後9時30分までに見直した。
3	食堂部門で、感謝セールの実施、一部メニューの割引価格の設定を実施した。
4	季節メニューなどチラシのDM(カモメール)による武石地域全戸配布による誘客活動を実施
5	季節イベントを行う際に、広告、のぼり旗等のPR活動を行ってきた。
6	

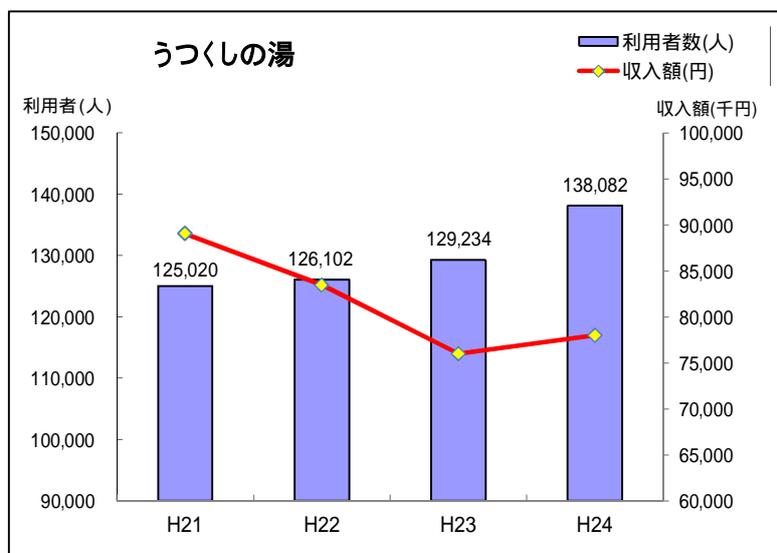
利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	124,000人	125,000人	125,000人	128,520人	138,300人	138,500人	138,500人
	B 実績	125,020人	126,102人	129,234人	138,082人			
	差引(B-A)	1,020人	1,102人	4,234人	9,562人			
	対前年増減		1,082人	3,132人	8,848人			

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	115,000,000円	70,800,000円	72,000,000円	85,072,000円	78,117,000円	78,230,000円	78,230,000円
	B 実績	89,057,998円	83,476,794円	75,990,931円	77,993,456円			
	差引(B-A)	25,942,002円	12,676,794円	3,990,931円	7,078,544円			
	対前年増減		5,581,204円	7,485,863円	2,002,525円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	13万8千人台の利用者数を維持する。
収入全体	<ul style="list-style-type: none"> ・固定客が年間券利用へ移行する傾向がみられることから、利用者1人当たりの収入単価が低くなることを考慮する必要がある。 ・平成21～24年度実績：1人当たり利用料収入額 564.8円



施設名称	武石番所ヶ原スキー場				
所在地	上田市上本入2386番地1	開設年月日	昭和57年12月20日	担当課所	武石地域自治センター 産業観光課
設置目的	豊かな自然環境の中で地域住民等に憩いの場を提供する。				
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者から中級者向けの1,000mのロングコース1、林間コース1、上級コース1、スノーボード全面滑走可能、キッズエリア1カ所 ・リフト2基 ・レストハウス1棟、無料休憩所1棟、駐車場からゲレンデまでは「うごく歩道」を設置 ・カービングスキー、スノーボードのレンタル実施 ・圧雪車1台、スノーマシン2台 				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1～H27.3.31 (3年)	財団法人 上田市地域振興事業団		選定	
2					

基本方針	
<p>スキー人口が増加の一途を辿ったバブル期以降、新規顧客の開拓や既存顧客へのサービスの対応の遅れが利用者数の減少に繋がった。</p> <p>当スキー場は、地域雇用を生み出し周辺産業に収益をもたらすとともに、地域経済の活性化に重要な役割を果たしてきた。</p> <p>スキー人口の減少に伴い、多くのスキー場では、利用者数がピーク時より約7割ほど減少しているが、当スキー場は、練馬区の中学校スキー教室を受け入れたことにより、ピーク時の3割減に留まっている。練馬区の中学校では、教科にスキー教室を取り入れていることから、練馬区との連携を強化するとともに当スキー場が選択されるよう対策を講ずることが、財政的にも重要である。</p>	
1	平成23年度に大規模改修をした利点を生かし、地域及び地区外にも宣伝を行い利用客の確保を図っていく。
2	ジュニア及びシニアを対象とするサービスの継続
3	練馬区との連携をさらに進めながら、利用客の確保、拡大を図っていく。

施設経営の課題	
1	利用者の多くが練馬区民であるが、一般の地域住民の集客も図っていく必要がある。
2	土日、祝日は利用客が多いが、平日は少ない。経費節約の視点から平日の運営方法について検討を要す。
3	大規模改修が行われたことにより、ゲレンデ、リフト、スノーマシン、動く歩道など光熱水費等の効率化を図る。
4	
(長期的課題と対応方針)	
1	練馬区中学生が利用者の大半を占める現状の中で、一般住民(地区外も含め)の誘客を進めながら、安定的経営が図れるよう努力する。
2	スキー人口が減少する中で、誘客手法とリピーターの確保をいかに行うかが課題。スキーヤーの動向と情報提供を行いながら対応していく。
3	イベント等の実施により、利用客の減少に歯止めをかける。

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	市民及び練馬区民の2割割引を行い、集客対策を行った。
2	ゲレンデの大規模改修により、安全で使いやすいゲレンデが実現した。
3	駐車場の拡充整備を行い、利用しやすくなった。
4	子供、シニア料金を設定して、スキーヤーの利便性を図った。
5	スキー場のリニューアルに伴うPR活動の実施。
6	レストハウスの料理メニューを増やし、利用者サービスと収入の向上を図った。

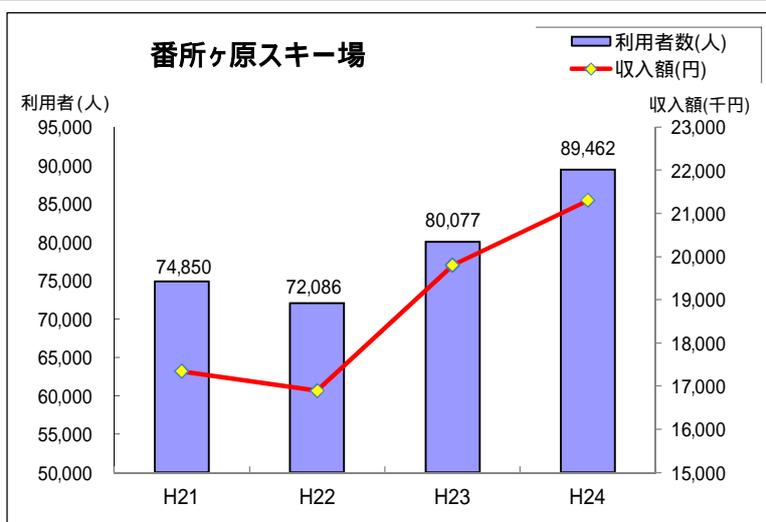
利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	83,700人	83,700人	88,100人	91,000人	90,000人	90,500人	90,500人
	B 実績	74,850人	72,086人	80,077人	89,462人			
	差引(B-A)	8,850人	11,614人	8,023人	1,538人			
	対前年増減		2,764人	7,991人	9,385人			

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	19,000,000円	19,000,000円	20,000,000円	17,500,000円	21,425,000円	21,544,000円	21,544,000円
	B 実績	17,344,110円	16,893,535円	19,796,810円	21,302,580円			
	差引(B-A)	1,655,890円	2,106,465円	203,190円	3,802,580円			
	対前年増減		450,575円	2,903,275円	1,505,770円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	9万人台の利用者数を目標とする。
収入全体	平成21～24年度実績：1人当たり利用料収入額 238.1円



施設名称	上田市室内プール(アクアプラザ上田)				
所在地	上田市上塩尻623番地	開設年月日	平成4年4月11日	担当課所	教育委員会スポーツ推進課
設置目的	四季を通じて市民のふれあいの場を提供し、健康の保持増進を図るため、室内プールを設置する。				
施設の概要	<p>【プール】25mプール(5コース)×1、ちびっこプール×1、ジェットプール×1、造波プール×1、小川プール×1、ウォータースライダー×2コース、溪流下り×1</p> <p>【その他】浴室(男女各1)、サウナ×2、ジャグジー×3、トレーニングルーム×1、レストラン、休憩室、更衣室、ロッカー室</p>				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1～H27.3.31 (3年)	株式会社 水工技建		公募	
2					

基本方針	
四季を通じて市民のふれあいの場を提供し、健康の保持増進を図るという施設の設置目的を勘案し、必要な施設の改修やサービスの向上等を通じて、市民が快適に利用できる施設づくりに努めるとともに、利用者数の増加を図ることにより市の財政負担の軽減を目指して、次の基本方針に沿った施設経営を行う。	
1	安全確実な運営とともに、効果的な施設経営により経費の節減を図る。
2	利用者へのサービスを充実し、利用者増を図る。
3	各種事業の展開により、特に平日利用者の増加を図る。
4	

施設経営の課題	
1	毎年1億2千万円を超える指定管理料(市の負担)
2	老朽化した施設(設備、備品等)の対応
3	燃料価格の高騰への対応
4	多様化する市民ニーズへの対応
5	利用者間で発生するトラブルへの対応
(長期的課題と対応方針)	
1	施設の老朽化の進行と、利用者の動向、市民ニーズを踏まえ、健康推進課等関係各課との連携により、レクリエーション型から健康志向型へ移行する。
2	25mプールについて、これまでの利用実態と市民ニーズを踏まえ、水深を浅くする改修を検討する。これにより加温に係る燃料消費を減らし、経費の節減を図る。
3	施設の老朽化が進んでいることから、利用者の推移と市民ニーズを踏まえつつ、廃止を含めた施設のあり方を検討する必要がある。

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	H22年度 基本協定を変更し、燃料費分を精算することとした。
2	H23年度 屋外給湯管の布設替え工事外施設改修を行なった。
3	H24年度からの指定管理料について、燃料単価の変動に対する補填方法及び燃料の年間使用予定量を定めた。
4	

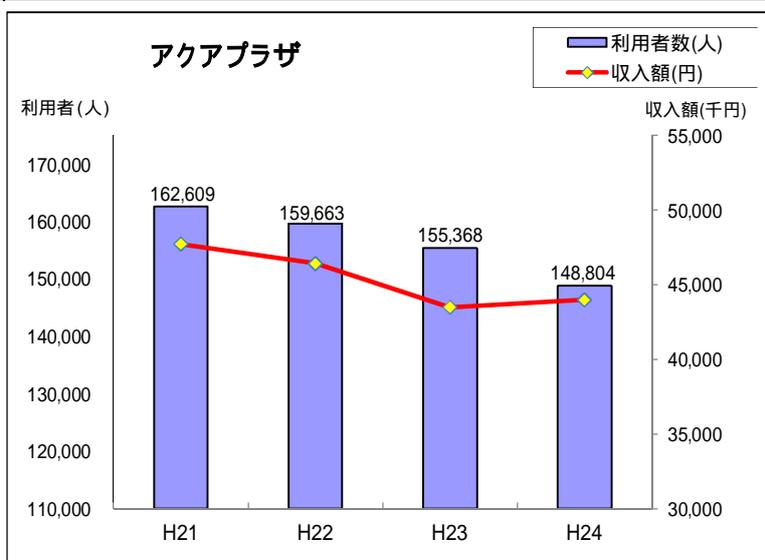
利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	180,000人	183,000人	186,000人	153,000人	153,000人	157,000人	160,000人
	B 実績	162,609人	159,663人	155,368人	148,804人			
	差引(B-A)	17,391人	23,337人	30,632人	4,196人			
	対前年増減		2,946人	4,295人	6,564人			

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	47,880,000円	48,600,000円	49,400,000円	46,000,000円	44,364,000円	45,523,000円	46,393,000円
	B 実績	47,732,320円	46,413,300円	43,496,350円	43,998,590円			
	差引(B-A)	147,680円	2,186,700円	5,903,650円	2,001,410円			
	対前年増減		1,319,020円	2,916,950円	502,240円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度以後の減少傾向に歯止めをかける。 ・H27年度には、H21年度の入場者数(約16万人)までの回復を目指す。
利用料等収入	H21からH24年度までの、1人当たりの利用料単価290.0円から算出。



施設名称	上田市真田温泉健康ランドふれあいさなだ館				
所在地	上田市真田町長6090番地1	開設年月日	平成5年3月22日	担当課所	真田地域教育事務所
設置目的	自然の恵みである温泉を活用し、年間を通して利用できる施設を提供することにより、地域住民の体力の向上及び健康増進並びに地域の交流及び福祉の向上を図る。				
施設の概要	【浴場】内風呂(男女各1)、露天風呂(男女各1) 【部屋】大広間80畳×1、個室12畳×3、食堂 【プール等】25mプール1(6コース)、水深60センチで滑り台がある小プール1、トレーニングルーム1				
	指定期間	指定管理者		備考	
1	H23.4.1～H27.3.31 (3年)	財団法人 上田市地域振興事業団		選定	
2					

基本方針	
市民の体力向上及び健康増進を図る目的達成のため、老朽化した施設の更新を計画的に実施し、併せて経費の節減と収支の改善を図るために、次の基本方針に沿った施設経営を行う。	
1	他の温泉施設にはない温泉プール・トレーニングルーム・飲食施設等併設の特色を活かした施設経営を行う。
2	施設管理部門・売店部門・食堂部門それぞれにかかる経費の節減に努める。
3	

施設経営の課題	
1	毎年5千万円を超える指定管理料(市負担額)
2	入館者数の増
3	原油価格高騰に伴う不規則な燃料費の増
(長期的課題と対応方針)	
1	施設設備の老朽化が進む中、計画的な施設の整備を実施していく必要がある。
2	プールの温度維持のための灯油代が燃料費の支出に占める割合が高く、今後の原油価格高騰によっては、通年営業の見直し等の改善策が必要である。
3	食堂・売店部門の経営については、自主事業であることを鑑み、指定管理者側の経営改善努力を強く促し、その結果により今後の部門の廃止、縮小等を判断する。
4	配置職員数について、公社の統合メリットを活かすため、経理部門の事業団事務局への移行を検討し、現在の7名体制からの削減を図る。

課題の改善に向けたこれまでの取組	
1	プール監視閑散期1名体制へ変更【指定管理者】
2	月1回イベント開催の継続。
3	売店レイアウトの変更商品構成の再考納入業者の変更。
4	自販機設置業者の見直し。
5	食堂宴会料理、敬老会メニュー構成を見直し、少人数からの送迎実施。

利用者数・使用(利用)料の状況

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用者数	A 目標	220,000人	230,000人	250,000人	190,000人	191,000人	192,000人	193,000人
	B 実績	196,256人	195,006人	181,892人	170,177人			
	うちプール利用者	55,061人	54,363人	53,245人	50,824人			
	差引(B-A)	23,744人	34,994人	68,108人	19,823人			
	対前年増減		1,250人	13,114人	11,715人			

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
利用料等収入	A 目標	115,000,000円	118,000,000円	122,000,000円	110,540,000円	106,179,000円	106,736,000円	107,292,000円
	B 実績	108,047,036円	104,647,440円	103,047,000円	97,485,094円			
	差引(B-A)	6,952,964円	13,352,560円	18,953,000円	13,054,906円			
	対前年増減		3,399,596円	1,600,440円	5,561,906円			

(目標数値等の根拠・説明)

利用者数	H22年度利用者数までの回復を目指し、毎年度1,000人増を計画。
利用料等収入	H21からH24年度までの1人当たり利用料単価555.9円から算出。

